

次の文章を読んで後の問いに答えよ。

ゆく川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶ①うたかたは、かつ消えかつ結びて、②久しくとどまりたる③ためしなし。世の中にある人とすみかと、またかくの④ごとし。

⑤たましきの都の内に、⑥棟を並べ、⑦薨を争へ⑧る、高き、⑨いやしき、人の住まひは、世々を経て尽きせぬものなれど、これをまことかと尋ねれば、昔ありし家はまれなり。あるいは⑩去年焼けて今年作れ⑪り。あるいは大家滅びて小家となる。住む人もこれに同じ。所も変はらず、人も多かれど、いにしへ見⑫し人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり。朝に死に、夕べに生まるるならひ、ただ⑬水の泡にぞ似たりける。知らず、生まれ死ぬる人、⑭いづ方より来たりて、いづ方へか去る。また知らず、飯の宿り、たがためにか心を悩まし、何によりてか目を喜ば⑮しむる。その、あるじとすみかと、無常を争ふさま、いはば朝顔の露に⑯異ならず。あるいは露落ちて花残れ⑰り。残るといへども朝日に枯れぬ。あるいは花しほみて露なほ消えず。消えずといへども夕べを待つことなし。

問一、傍線部⑥⑦⑩の読みを現代仮名遣いで答えよ。

問二、傍線部①③⑤の本文中での言葉の意味を答えよ。

問三、傍線部②⑨⑬の用言について、活用の種類と活用形を答えよ。

問四、傍線部④⑧⑪⑫⑮の助動詞について、本文中での意味と活用形を答えよ。

問五、傍線部⑬⑭について現代語訳せよ。

問六、次の問題について、便覧等を用いて調べて答えよ。

（1）「方丈記」の作者名を漢字で答えよ。

（2）「方丈記」の成立時代を答えよ。

（3）「方丈記」の文体の特徴を答えよ。

（4）日本三大随筆を成立順に漢字で答えよ。（作者名も答えること。）

（5）「方丈記」は「無常観」を表した作品だと言われている。「無常観」とはどのようなものだと思うか。「方丈記」が書かれた時代を考えながら説明せよ。

3年 組 番 ()

問六					問五		問四			問三		問二	問一					
(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	⑭	⑬	⑮	⑪	⑤	⑯	②	①	⑥					
							・	・	・	活用	活用	③	⑦					
														形	形	形	形	形
											⑫	⑧	活用	⑨	⑤	⑩		
											・	・					形	形